

平成30年度 (公 民) 教育指導計画

(1) 科目の配当・分担表

(必修 ◎, 選択必修 ○, 選択 △) (講師:*)

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
1	「政治・経済」	◎	2	4	8	甲山 和美
3	「倫理」	◎	2	4	8	甲山 和美

(2) 「政治・経済」 指導計画表

科目名: 政治・経済	学年: 第1学年	単位: 2単位	担当者名: 甲山 和美
<p>1. 指導目標</p> <p>① 現実の政治・経済の動きについて主体的に情報を収集して把握する態度と、社会事象を社会科学的に捉える力を養う。</p> <p>② 社会の動きに対する関心を深め、自分の立場や役割をその中に置いて、自らの判断や行動について考える態度を育む。</p> <p>③ 身近な社会から国際社会までを自分の所属する社会としてとらえる視点と、他者との共生の意識をもって問題解決に臨む姿勢を育てる。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>① 基本的事項の理解の上に立って、社会事象を原理的に考察することができるか。</p> <p>② 社会的な問題を、自分との関わりにおいてとらえ、考えられているか。</p> <p>③ 自ら課題を見出し、当事者性をもって主体的な態度で考えようとしているか。</p> <p>3. 授業方法</p> <p>講義 グループワーク レポート作成・発表</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>定期考査 レポート・発表 その他、授業における諸活動、提出物など これらを総合的に評価する。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <p>1 近代市民社会とシティズンシップ</p> <p>2 資本主義経済の原理と変容</p> <p>3 市場経済の機能と限界</p> <p>4 財政の役割と課題</p> <p>5 通貨と金融のしくみ</p> <p>6 経済成長・景気変動と財政・金融政策</p> <p><2学期></p> <p>7 市場経済と労働問題</p> <p>8 社会保障のしくみと課題</p> <p>9 国際経済体制と国際経済の動向</p> <p>10 国際社会の諸課題と日本の役割</p> <p>11 人権保障の歴史と民主政治の原理</p> <p>12 人権保障の現状と課題</p> <p><3学期></p> <p>13 人権保障の国際化</p> <p>14 民主政治の課題と市民の参加</p>	
<p>(使用教科書)</p> <p style="text-align: center;">高校 政治・経済 新訂版 実教出版</p> <p>(副教材・テキストなど)</p> <p style="text-align: center;">資料 政・経 2018 東学</p>			

(2)「倫理」 指導計画表

科目名： 倫 理	学年：第3学年	単位：2単位	担当者名： 甲山 和美
<p>1. 指導目標</p> <p>① 人類の思索と学問の歴史を知り、人間社会のあり方や課題に普遍性を発見し、また、人間の本質について考える。</p> <p>② 現代の思想や文化の成り立ちに関してさまざまな視点から考察し、多様な価値観を受容する態度と、自己と自己を取り囲む社会について主体的に考える姿勢を養う。</p> <p>③ 「学ぶ」ことの意味と「学び方」を学ぶ。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>① 先哲の思想について、その時代との関わりの中に位置づけ、また、他の思想家と対比しながら理解できたか。</p> <p>② 学問・研究の歴史に敬意をはらい、自己の意見・見解を客観化して、自らの課題を見出す態度で学習できたか。</p> <p>③ 学んだことが、現代の諸問題を考えるために生かされるものとしてとらえられているか。また、現代の倫理的諸問題に関心をもち、主体的かつ多角的に考察する態度が育ったか。</p> <p>3. 授業方法</p> <p>資料の読解を含む講義を中心とする。</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>授業に対する反応を鑑みつつ、定期考査を中心として評価する。知識理解とともに、記述・論述問題への解答を通じて、関心・態度を評価する。</p>	<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <p>1 西洋思想の源流</p> <p> i ギリシア思想</p> <p> ii ヘレニズムと西洋近代思想・近代科学</p> <p> iii ユダヤ教とキリスト教思想</p> <p> iv キリスト教思想の発展と近代化</p> <p>2 宗教と人間</p> <p> i イスラームの思想・世界観</p> <p> ii インド思想と仏教</p> <p><特講></p> <p> i 青年期の心理と人間形成</p> <p> ii 中国の思想—儒教と老荘思想</p> <p> iii 日本の風土と思想</p> <p> iv 仏教の受容と展開</p> <p> v 儒学と日本近世思想</p> <p><2学期></p> <p>3 近代的人間の誕生</p> <p> i 近代人の誕生—ルネサンス・宗教改革—</p> <p> ii モラリストたち</p> <p> iii 近代的な世界観と科学（経験論と合理論）</p> <p>4 民主社会の形成と人間のあり方</p> <p> i 自然法思想と社会契約説</p> <p> ii ドイツ観念論</p> <p> iii 西洋近代思想の受容（近代日本思想）</p> <p>5 個人の主体性と自由・幸福</p> <p> i 功利主義と資本主義社会</p> <p> ii 実存主義</p> <p> iii プラグマティズムと実証主義</p> <p> iv 社会主義とヒューマニズム</p>	<p><3学期></p> <p>6 現代思想の展開</p> <p> i 現代社会の倫理的課題</p> <p> ii 自由と正義</p>	
<p>(使用教科書)</p> <p>改訂版 倫理 数研出版</p> <p>(副教材・テキストなど)</p> <p>詳解 倫理資料 新訂版 実教出版</p>			